

第14回バイオ関連化学シンポジウム プログラム
9月7日(月) 午前

		A会場	B会場
9:20-9:30	実行委員長挨拶		
9:30-10:30	座長：王子田 彰夫 (九大院薬)		座長：樫田 啓 (名大院工)
9:30-9:50	1A-01	酵素反応による水溶性脂質化タンパク質の合成 ○高原 茉莉・若林 里衣・後藤 雅宏・神谷 典穂 (北九州高専・九大院工)	1B-01 光増感剤からの一重項酸素発生による凝縮DNA中のグアニン損傷 櫻井 俊亮・城 健斗・木下 光・江角 茉結・○田仲 真紀子 (電通大院情報)
9:50-10:10	1A-02	人工集光アンテナ分子修飾による光回復酵素のDNA修復能の向上 寺井 悠馬・川上 由夏・佐藤 竜馬・岩井 成憲・○山元 淳平 (阪大院基礎工・理研BDR)	1B-02 G-quadruplexを標的とする環状ナフタレンジイミド二量体の創成と評価 ○Zou Tingting・竹内龍佑・佐藤しのぶ・竹中繁織 (九工大院工)
10:10-10:30	1A-03	ペルオキシダーゼ活性の変化と近接標識を利用したグアニン四重鎖結合タンパク質の選択的修飾 ○佐藤 伸一・増澤 樹・大吉 崇文・丹羽 達也・田口 英樹・中村 浩之 (東北大学際研・東工大化生研・静岡大総合科学技術研究科・東工大細胞制御工学研究センター)	1B-03 アルキル基をウリジン塩基部に導入した両親媒性DNAオリゴマーの細胞内集積 ○田邊 一仁・貝沼 玲菜・西原 達哉 (青学大理工)
休憩 (10分)			
10:40-12:00	座長：山元 淳平 (阪大院基礎工)		座長：齋藤 雄太朗 (東大院工)
10:40-11:00	1A-04	PYPタグの新規リガンド構造の探索とマルチカラータンパク質ラベル化プローブの開発 ○堀 雄一郎・西浦 美也子・梅野 真帆・菊地 和也 (阪大院工・阪大免フロ・阪大量子情報・量子生命研究センター)	1B-04 病態生理学的知見に基づいた毒性アミロイドβオリゴマー識別リガンドの開発 ○塚越 かおり・久保 梨夏子・池袋 一典 (東農工大院工)
11:00-11:20	1A-05	反応性ペプチドタグを用いた合成化合物-タンパク質間相互作用の酵素活性による検出 ○高橋 剛・藤岡 芽生子・萩原 弘顕 (群大理工)	1B-05 外圧印加が誘起する細胞の塩素イオン排出とがん浸潤能の関係 ○山岸 彩奈・伊藤 文恵・中村 史 (産総研細胞分子工学・東農工大工・東農工大院工)
11:20-11:40	1A-06	ケミカルプローブによる生体組織での脂肪酸β酸化イメージング ○内之宮 祥平・永浦 智樹・松永 直哉・Weber Mark・井上 和也・大戸 茂弘・王子田 彰夫 (九大院薬)	1B-06 代謝型グルタミン酸受容体のin vivo 活性制御を指向した新たな化学遺伝学的手法の開発 ○堂浦 智裕・長谷川 寛太・清中 茂樹 (名大院工)
11:40-12:00	1A-07	抗リウマチ薬メトトレキサートとマクロファージ遊走阻害因子の相互作用解析 ○松村洋寿・杉島 小雪・面川 歩・長門石 暁・津本 浩平・重田 育照・尾高雅文・廣川 誠・涌井 秀樹 (秋大院理工・秋大院医・東大医科研・筑波大院数理物質)	1B-07 S/O/Wエマルジョンアジュバントによるがんワクチン活性 ○田原 義朗・水野 梨瑚・若林 里衣・神谷 典穂・後藤 雅宏 (同志社大理工・九大院工・九大経皮吸収セ・九大未来化セ)
昼休み (12:00- 13:00)			

第14回バイオ関連化学シンポジウム プログラム
9月7日(月) 午後

		A会場	B会場
13:00-14:40	ポスター発表 (1P-01 ~ 1P- 27, 1P-29 ~ 1P-88)		13:00- 13:50 奇数番号
			13:50 - 14:40 偶数番号
休憩 (20分)			
15:00-16:00	座長：堀 雄一郎 (阪大院工)		座長：建石 寿枝 (甲南大先端生命工)
15:00-15:20	1A-08	金属イオン活性型in situクリック反応によるKDM5C阻害薬の同定 ○伊藤 幸裕・三宅 由花・鈴間 喜教・児玉 英彦・内田 周作・鈴木 孝禎 (阪大産研・京都府立医大院医・京大院医)	1B-08 Pseudo complementary塩基対を用いたSNA型アンチセンス核酸の高活性化 ○神谷 由紀子・佐藤 史経・村山 恵司・浅沼 浩之 (名大院工)
15:20-15:40	1A-09	モータータンパク質が駆動する分裂期染色体の光操作 ○松尾 和哉・Noushaba N. Mafy・比留間 翔太・上原 亮太・玉置 信之 (北大電子研・北大院生命)	1B-09 ヒドロキシウラシルの塩基対スイッチングに基づく金属イオン応答性DNA超分子の創製 ○竹澤 悠典・森 圭太・黄 薇恩・西山 康太郎・塩谷 光彦 (東大院理)
15:40-16:00	1A-10	シトクロムP450による高難度ガス状アルカンの直接水酸化 ○有安 真也・児玉 侑朔・米村 開・笠井 千枝・愛場 雄一郎・荘司 長三 (名大院理・JST-CREST)	1B-10 低酸素環境下で活性化するFloxuridineオリゴマーの開発 ○森廣 邦彦・石鍋 拓郎・高津 正子・岡本 晃充 (東大院工・東大先端研セ)
休憩 (10分)			
16:10-17:30	座長：佐藤 伸一 (東北大学際研)		座長：田原 義朗 (同志社大理工)
16:10-16:30	1A-11	両親媒性ペプチドタグを基軸とした蛋白質集合体の細胞内ボトムアップ構築 ○三木 卓幸・中井 太一・橋本 匡浩・梶原 圭悟・堤 浩・三原 久和 (東工大院生命理工)	1B-11 寄生・共生菌由来リポ多糖部分構造の化学合成と免疫調節機能の解明 ○下山 敦史・山浦 遼生・宇戸 智哉・細見 晃司・Di Lorenzo Flaviana・藤本 ゆかり・Molinario Antonio・清野 宏・國澤 純・深瀬 浩一 (阪大院理・阪大院理PRC・医薬健栄研・University of Naples Federico II・慶大理工・東大医科研)
16:30-16:50	1A-12	Encapsulation of a precisely defined amyloid beta peptide oligomer into the confine environment of ferritin cage ○Maity Basudev・Shiori Kameyama・Takafumi Ueno (Tokyo Tech, School of Life Sci. and Technol.)	1B-12 交互両親媒性分子のフッ素化と機能開拓 ○佐藤 浩平・佐々木 峻・田端 和仁・野地 博行・金原 数 (東工大生命理工・東大院工)
16:50-17:10	1A-13	静電的相互作用を介したタンパク質の自己組織化ならびに結晶化 ○南畑 孝介・塚本 啓介・安達 基泰・清水 瑠美・三品 匡央・黒木 良太・長棟 輝行 (九大院工・東大院工・量研機構・原子力機構)	1B-13 酒の醸造における主要芳香成分濃度に焦点を当てた細胞サイズ脂質小胞と酵母の形態学的特徴 ○依田 毅・齋藤 知明 (青森産技弘工研)
17:10-17:30	-		1B-14 効率的な微量生体分子抽出法を用いた微小組織のゲノム解析及び遺伝子発現解析 ○山崎 美輝・松永浩子・細川正人・有川浩司・坂梨千佳子・鈴木直子・竹山春子 (早大院先進理工・産総研 CBBDOIL・早大ナノライフ創研)

第14回バイオ関連化学シンポジウム プログラム
9月8日(火) 午前

		A会場	B会場
9:30-10:30		座長：神谷 典穂 (九大院工)	座長：竹澤 悠典 (東大院理)
9:30-9:50	2A-01	前立腺がんを標的とする内在性抗体リクルート分子の開発 ○森 健・佐々木 光一・原田美乃里・田川 寛・大城裕之介・谷戸謙太・岸村顕広・片山佳樹 (九大院工・九大院システム生命)	2B-01 翻訳反応サイクルを加速する人工mRNAの開発 ○川口 大輔・児玉 亜有実・阿部 奈保子・竹淵 慧・橋谷 文貴・友池 史明・中本 航介・木村 康明・清水 義宏・阿部 洋 (名大院理・学習院大理・理研・JST-CREST・iGCORE)
9:50-10:10	2A-02	SARS-CoV-2を結合・中和する人工抗体の開発 近藤 大志・岩谷 靖雅・松岡 和弘・藤野 公茂・梅本 駿・横幕 能行・林剛介・○村上 裕 (名大院工・名医セ・名大院医・名大ナノライフ)	2B-02 人工核酸SNAナノ構造体を利用したキラル増幅 ○樫田 啓・西川 慧史・角田 貴洋・生越 友樹・浅沼 浩之 (名大院工・金沢大院自然・京大院工)
10:10-10:30	2A-03	抗体を蛍光免疫センサー化可能なタンパク質PM Q-probeの開発 ○上田 宏・董 金華・三宅 千絢・橋昌樹・北口 哲也 (東工大化生研・Weifang医学院・東工大総合理工・東工大生命理工)	2B-03 神経変性疾患に関わるリボトRNAによる相分離機構の解析 ○建石 寿枝・Ye Teng・大山 達也・田中 成典・杉本 直己 (甲南大FIBER・神戸大院システム情報学・甲南大FIRST)
休憩 (10分)			
10:40-12:00		座長：高岡 洋輔 (東北大院理)	座長：佐藤 浩平 (東工大院生命理工)
10:40-11:00	2A-04	新規人工酵素Syn-F4エンテロバクチンエステラーゼのX線結晶構造解析 栗原 航大・梅澤 公二・Sha Tao・Ann E Donnelly・Michael H Hecht・○新井 亮一 (信州大繊維・信州大バイオメディカル研・信州大農・プリンストン大化)	2B-04 エクソソーム随伴型薬物送達システムによる核酸医薬の細胞内送達 ○山吉 麻子・大山 将大・錦織 大介・和田 健彦・山本 剛史 (長大院医歯薬・JSTさきがけ・東北大多元研)
11:00-11:20	2A-05	Lrp/AsnC型転写制御因子TK2110によるアミノ酸異化代謝系制御機構の解明 ○丸山 凌・谷本 充・Rengwei LIU・吉田 晃・山本 康之・金井 保・跡見 晴幸 (京大院工)	2B-05 双連結型キュービック液晶による中分子量薬物の経皮送達システム ○小坂 秀斗・若林 里衣・神谷 典穂・後藤 雅宏 (九大院工)
11:20-11:40	2A-06	ロジウム活性中心を有するバイオハイブリッド触媒の指向性進化：C-H結合活性化によるイソキノリン合成への応用 ○加藤 俊介・小野田 晃・Ulrich Schwaneberg・林 高史 (阪大院工・北大院環境科学院・アーヘン工科大学バイオテクノロジー研究所)	2B-06 相補的相互作用を用いた共集合体の形態制御と細胞内デリバリー ○若林 里衣・大林 洋貴・神谷 典穂・後藤 雅宏 (九大院工・九大未来化セ)
11:40-12:00	2A-07	ヒト血清アルブミンをキラル反応場に用いたアントラセン誘導体の触媒的超分子不斉光反応系の構築 ○西嶋 政樹・河合 美咲・豊岡 壮太・藤城 祐也・森 直・荒木 保幸・井上 佳久・和田 健彦 (東北大多元研・阪大院工)	2B-07 高効率な細胞内移行性を示すサボリン毒素由来の膜透過性ペプチド 小吹 桃子・片山 未来・野口 公輔・○中瀬 生彦 (阪府大院理)
昼休み (12:00-13:00)			

第14回バイオ関連化学シンポジウム プログラム
9月8日(火) 午後

		A会場	B会場
13:00-14:40	ポスター発表 2P-01 ~ 2P- 88, 1P - 28		13:00- 13:50 奇数番号
			13:50 - 14:40 偶数番号
休憩 (20分)			
15:00-16:00	座長：西嶋 政樹 (東北大多元研)		座長：堂浦 智裕 (名大院工)
15:00-15:20	2A-08	ベシクル型コンパートメント内へのタンパク質集積に基づくyolk-shell型構造体の形成 ○岸村 顕広・劉 一イ・丸山 朋輝・神澤 大志・森 健・片山 佳樹 (九大院工・九大CMS)	2B-08 協同的錯形成によるジフェニルピオロゲンとクラウンエーテルを含む新規[3]ロタキサンモチーフの構築 ○小倉 岳哉・酒田 陽子・秋根 茂久 (金沢大院自然・金沢大 WPI-NanoLSI)
15:20-15:40	2A-09	エンベロープ型人工ウイルスキャプシドの創製と膜タンパク質搭載 ○松浦 和則・古川寛人・稲葉 央・佐々木 善浩・秋吉 一成 (鳥取大院工・京大院工)	2B-09 赤色光を用いたインドリジンの光酸化反応によるアルコールおよびカルボン酸の高速放出 ○渡邊賢司・寺尾和花・喜井勲・中川れい子・丹羽節・細谷孝充 (理研BDR・信州大院農・東医歯大生材研)
15:40-16:00	2A-10	細胞内タンパク質結晶化の最適化と迅速構造解析 ○安部 聡・小島 摩利子・小暮 遼河・上野 隆史 (東工大生命理工)	2B-10 カリックス[4]チアクラウン-5の有機・無機水銀(II)化合物に対する選択的捕捉能の検討 ○瀧本 竜哉・橋本 悠・井上 元・日置 和人・佐々木 秀明 (神院大薬)
休憩 (10分)			
16:10-17:10	座長：岸村 顕広 (九大院工)		座長：塚越 かおり (東農工大院工)
16:10-16:30	2A-11	ジャスモン酸関連転写因子を阻害するステーブルJAZペプチドの合理的設計と植物個体内機能解析 ○高岡 洋輔・鈴木 華穂・Ika Nurul Azizah・上田 実 (東北大院理・東北大院生命科学)	2B-11 シクロメタレート型イリジウム錯体-カチオン性ペプチドハイブリッドによるがん細胞のパラトキシス誘導と作用機序 ○青木 伸・横井 健汰・Chandrasekar Balachandran・Haribabu Jebiti・小山田 有紗・梅澤 雅和・土屋 好司 (東京理科大薬・東京理科大総合研究院・東京理科大生命医科学研)
16:30-16:50	2A-12	蛋白質-蛋白質間相互作用の速度論的制御に基づくP-カドヘリンの細胞接着形成阻害 ○妹尾 暁暢・長門石 暁・黒田 大祐・伊藤 翔・上野 剛・齋藤 雄太朗・吉田 浩平・田島 卓実・工藤 翔太・山東 信介・津本 浩平 (東大院・工・東大・医科研・理研・SPring-8)	2B-12 生体内アミノペプチダーゼN活性を検出する超偏極分子プローブの開発 ○齋藤 雄太朗・谷田部 裕行・田村 伊織・近藤 洋平・石田 涼・関智宏・江口 晃弘・高草木 洋一・山本和俊・Murali C. Krishna・山東 信介 (東大院工・NIH・QST)
16:50-17:10	2A-13	配列選択的RNA結合タンパク質を用いたRNAメチル化状態の配列特異的制御 ○今西 未来・篠田 昂樹・須田 明代・二木 史朗 (京大化研)	2B-13 強固で可逆的な配位結合二量体モチーフを用いたバイオ関連物質の接近・接着技術の開発研究 ○佐竹 彰治 (東京理大理二化学)